



<美和中校区小中一貫学校教育目標> 地域の未来を切り拓く児童生徒の育成

<めざす児童像>

- 夢や未来を語ることができる児童生徒
- 仲間と共に課題解決に取り組む児童生徒
- 学び続け、創り出すことに喜びを見出すことができる児童生徒

<チャレンジ目標>

美和東小学校 **チャレンジ目標**

## 美和東小、ABC

**A** あたいまえのことを  
tarimae



マロリン

**B** びっくりするくらい  
ikkuri

**C** ちゃんとやる  
hanto

### 田島記念陸上大会に見たノーサイド精神

校長 東原 孝

10月15日・16日に山口市維新みらいふスタジアムで、田島直人記念陸上大会が開催されました。岩国市出身でベルリンオリンピック(1936年)の三段跳で金メダルを獲得した田島直人さんの功績を讃え始まったこの大会は今回で19回目を迎えました。この大会は日本グランプリシリーズの最終戦ということで、日本のトップアスリートが多く出場していました。私は毎年テレビでこの大会を観戦していましたが、今回はたまたま審判員の要請があり、競技アナウンサーとして大会運営に携わることができました。今大会の目玉は女子100m走です。君嶋愛梨沙さん(日本選手権優勝)と兒玉芽生さん(国体優勝)が女子100mに出場するというので、大きく注目されていました。しかも君嶋さんは岩国市出身ということもあり、地元メディアは特に力を入れて取材していました。この二人は7月に行われたオレゴン世界陸上女子400mリレーの日本代表選手で、第二走者(君嶋さん)と第三走者(兒玉さん)を務め、予選で見事日本新記録を樹立したチームメイトでもあり、しのぎを削ってきたライバルでもあります。幸いにも、この二人が走る決勝レースの選手紹介と競技実況アナウンスの担当が私に巡ってきたのです。とても緊張しました。同時に、二人のこれまでの活躍や様子を場内の観客にわかりやすく伝える原稿を作成するため、レース前の二人の様子を観察していました。世界の大舞台でバトンをつないだチームメイトですが、二人は互いに目も合わさず、スタート練習に集中していました。スタンド4階のアナウンス室にも、この緊張と互いに飛び散る火花の様子がしっかり伝わってきました。いざスタート。30m地点で早くもこの二人が飛び出し、レッドヒートが展開されました。結果は奇跡ともいえる同タイム着差なしの同時優勝(11秒41)。1000分の1秒まで同タイムの同時優勝は本当に珍しいことです。二人は記録を知った瞬間、互いの走りを賞賛し抱き合い喜び合いました。この映像が場内のスクリーンに映し出され、会場は大きな拍手と感動に包まれました。レースが終わるまでは勝負にしっかりとこだわり、結果が出れば互いを讃え合う。当たり前前のことですが、世界に通ずるトップアスリートの美しい姿に本当に感動しました。奇跡の瞬間と感動に立ち会えたことに感謝したいと思います。

# 10月のアルバム

10月、平日の昼間には雨がほとんど降りませんでした。好天に恵まれて、たくさんの行事を気持ちよく実施することができました。準備等ありがとうございました！



交通教室



学校保健安全委員会



陸上記録会(5・6年)



稲刈り(5年)



社会見学(1・2年)



栗拾い(3・4年)



社会見学(3年)



社会見学(4年)



## 12月行事予定

1日(木)	持久走大会(美和西小) 集金日	14日(水)	児童集会 縦割り班遊び ALT
2日(金)	SC訪問	15日(木)	小中合同防災学習
5日(月)	委員会活動	16日(金)	玖北地区なかよし合同学習(西小)
7日(水)	ALT	20日(火)	火災避難訓練 ALT
8日(木)	西小との交流学習1・2年	21日(水)	個人懇談(13:00下校)
13日(火)	食育巡回訪問6年 人権教育講演会5・6年	22日(木)	個人懇談(13:00下校)
		23日(金)	終業式(15:00下校)